

パナソニック コネクト株式会社  
プロセスオートメーション事業部  
サステナビリティ経営方針

**Panasonic**  
**CONNECT**

# 目次

- **サステナビリティ経営について**
  - トップメッセージ
  - パナソニック コネクトのサステナビリティ経営
  - プロセスオートメーション事業部のESGアプローチ
- **E | 環境 | サプライチェーンの自律化による環境保全**
  - 中長期環境ビジョン | GREEN IMPACT
  - 環境配慮に向けた負荷低減活動 | GREEN FACTORY
  - 環境配慮に向けた独自認定制度 | GREEN PRODUCTS
  - 私たちだからできるHOW | Autonomous Factory
  - 環境保全活動 | 国内拠点エコリレー
- **S | 社会 | モノづくり現場のウェルビーイング実現**
  - 安全配慮の徹底
  - DEI推進による多様な人材の活躍
  - 健康経営宣言
- **G | ガバナンス | 地球・社会への継続貢献**
  - コーポレートレジリエンス向上
  - グローバルコンプライアンスの実践

# 目次

- **サステナビリティ経営について**
  - トップメッセージ
  - パナソニック コネクトのサステナビリティ経営
  - プロセスオートメーション事業部のESGアプローチ
- **E | 環境 | サプライチェーンの自律化による環境保全**
  - 中長期環境ビジョン | GREEN IMPACT
  - 環境配慮に向けた負荷低減活動 | GREEN FACTORY
  - 環境配慮に向けた独自認定制度 | GREEN PRODUCTS
  - 私たちだからできるHOW | Autonomous Factory
  - 環境保全活動 | 国内拠点エコリレー
- **S | 社会 | モノづくり現場のウェルビーイング実現**
  - 安全配慮の徹底
  - DEI推進による多様な人材の活躍
  - 健康経営宣言
- **G | ガバナンス | 地球・社会への継続貢献**
  - コーポレートレジリエンス向上
  - グローバルコンプライアンスの実践

# CEO Message

パナソニック コネクト株式会社は、パナソニックグループにおいて、B2Bソリューション事業成長の中核を担い、顧客起点でお客様の「現場」に貢献する新しいソリューションを提供する会社です。当社は、企業としての存在意義であるパーパスを、「現場から 社会を動かし 未来へつなぐ」と掲げています。このパーパスには、サプライチェーン・公共サービス・生活インフラ・エンターテインメントのそれぞれの「現場」をイノベートすることで、人と自然が共存できる豊かな社会・地球の「サステナビリティ」と、一人ひとりが生きがいを感じ、安心安全で幸せに暮らすことができる「ウェルビーイング」を実現していくという想いを込めています。お客様の多様な「現場」に寄り添い、課題解決に向けたお役立ちをし続けられるよう、なによりもお客様と「つながる」ことを大切に、より一層貢献していく所存です。今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



パナソニック コネクト株式会社  
代表取締役 執行役員 プレジデント  
樋口 泰行



## Division Manager Message

昨今のモノづくり現場は、デジタル革新・情報機器の技術革新などが進み、より高精度で高品質な製品を低コスト・短納期で市場にお届けすることが要求されてきています。

プロセスオートメーション事業部（PABD）では、実装・半導体・FPD製造、溶接・レーザ加工などのプロセス技術領域において、精緻精密な加工プロセス「ファインプロセス」の技術領域における装置・プロセスコントロールシステム・O&M（Operation & Maintenance）サービスなどで、いち早く新たな価値を創造し、お客様の要望/供給の変化に即応可能な、自律的に進化し続ける工場「Autonomous Factory」の実現を目指しています。

今後ともお互いの信頼関係のもと「共創パートナー」として末永くお付き合いいただき、より一層のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



パナソニック コネクト株式会社  
執行役員 シニア・ヴァイス・プレジデント  
プロセスオートメーション事業部  
マネージングダイレクター  
秋山 昭博

「現場から 社会を動かし 未来へつなぐ」

私たちは「現場」をイノベートすることで、  
サステナビリティ経営を実現します。

製造・物流・流通を始めとする様々な「現場」のプロセスを改革することで、  
CO<sub>2</sub>を削減し、資源を有効活用する。

「現場」の働き方を改善しながら、  
人々が健やかに安心して働ける職場にする。

多様性の高い組織風土を醸成し、お客様やパートナー様との共創を進めながら、  
社会と地球のサステナビリティ、そして一人ひとりのウェルビーイングを実現する。

これらの挑戦を、力強く進めてまいります。

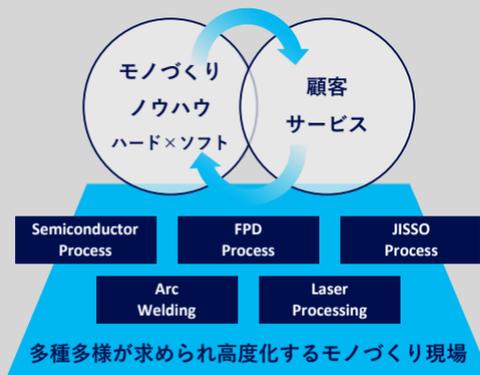
PABD PURPOSE

## Fine Process Innovation connects to Tomorrow

私たちは、精緻精密なモノづくり技術で「現場」をイノベートし、サステナブルな未来へつなぎます。

### 事業活動

モノづくり技術 (ハード×ソフト) と  
顧客サービスの融和で  
社会状況に即応できる現場を実現



### 具体的な取り組み

#### E | サプライチェーンの自律化による環境保全

01. 中長期環境ビジョン
02. 環境配慮に向けた活動
03. 私たちだからできるHOW
04. 環境保全活動

#### S | モノづくり現場のウェルビーイング実現

05. 安全配慮の徹底
06. DEI推進による多様な人材の活躍
07. 健康経営宣言

#### G | 地球・社会への継続貢献

08. コーポレートレジリエンス向上
09. グローバルコンプライアンスの実践

### 創出価値

モノづくり現場の生産性向上による  
環境保全と経済発展の両立



心身への安全配慮による  
ウェルビーイングの実現



# 目次

- **サステナビリティ経営について**
  - トップメッセージ
  - パナソニック コネクトのサステナビリティ経営
  - プロセスオートメーション事業部のESGアプローチ
- **E | 環境 | サプライチェーンの自律化による環境保全**
  - 中長期環境ビジョン | GREEN IMPACT
  - 環境配慮に向けた負荷低減活動 | GREEN FACTORY
  - 環境配慮に向けた独自認定制度 | GREEN PRODUCTS
  - 私たちだからできるHOW | Autonomous Factory
  - 環境保全活動 | 国内拠点エコリレー
- **S | 社会 | モノづくり現場のウェルビーイング実現**
  - 安全配慮の徹底
  - DEI推進による多様な人材の活躍
  - 健康経営宣言
- **G | ガバナンス | 地球・社会への継続貢献**
  - コーポレートレジリエンス向上
  - グローバルコンプライアンスの実践

## Panasonic GREEN IMPACT

「より良いくらし」と「持続可能な地球環境」の両立に向けて

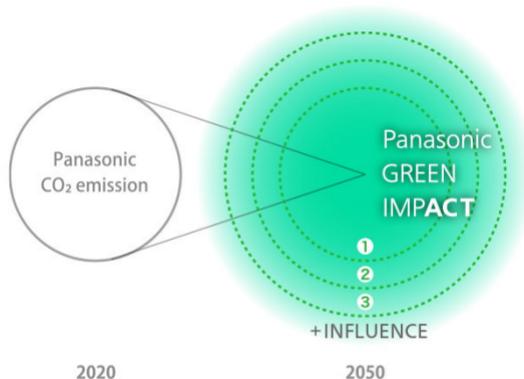
パナソニックグループでは、自社の事業に伴うCO<sub>2</sub>排出量の削減と、

社会におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に対する貢献を「Panasonic GREEN IMPACT」と名付け、

2050年に向けて、現在の世界のCO<sub>2</sub>総排出量の「約1%（≒3億トン）」の削減インパクトを目指します。

### パナソニックグループ 中長期環境ビジョン

Panasonic  
GREEN  
IMPACT



IMPACTの種類	パナソニックグループ取り組み事例（一部）
① OWN IMPACT 自社バリューチェーンにおける排出削減インパクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>ゼロ工場の取り組み</li> <li>当社オフィスの省エネ</li> <li>お客様が使用する当社家電商品の省エネ</li> </ul>
② CONTRIBUTION IMPACT 既存事業による社会への排出削減貢献インパクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>純水素型燃料電池</li> <li>ヒートポンプ式温水暖房機（Aquarea）</li> <li>真空断熱ガラス（Glavenir）</li> <li>コンビニ・スーパー向け冷蔵用自動ドア</li> <li>EV用リチウムイオンバッテリー</li> </ul>
③ FUTURE IMPACT 新事業・新技術による社会への排出削減貢献インパクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在開発中の環境技術（ペロブスカイト太陽電池等）</li> </ul>
+ INFLUENCE 社会のエネルギー変革に対する波及インパクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>①～③の事業活動や社会とのコミュニケーション活動を通じて、生活者や事業者の再エネ拡大を促進</li> </ul>

## GREEN FACTORY

「より良いくらし」と「持続可能な地球環境」の両立に向けて

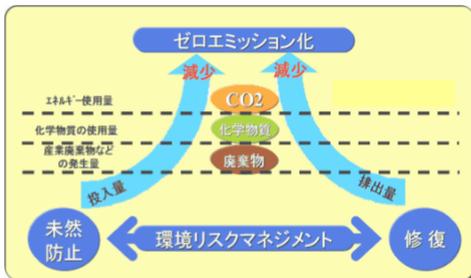
パナソニックグループでは、モノづくりによる環境負荷低減にグローバル全工場で行っています。

特に、省エネルギー活動・化学物質管理・廃棄物の削減・環境リスクを重点テーマとし、

工場のCO<sub>2</sub>排出量の最小化・化学物質の排出量の最小化・廃棄物発生量の最小化・環境リスクの未然防止のための現場実態把握を行っています。

## 各工場で行っている環境負荷低減活動

## GREEN FACTORY 重点取り組み



## 廃棄物・有価物のリサイクル率



各工場では、生産工程におけるあらゆる投入量と排出量の最小化に取り組み、廃棄物の排出量を削減すると共に、有価物や再資源化量を増やすことで、リサイクル率の向上に取り組んでいます。

## 化学物質の管理

単位: [カウント]	2017	2018	2019	2020	2021
HEI 国内国外 合計	785	723	746	733	769

HEIカウント = 化学物質の有害性係数 × 排出・移動量

化学物質は多種多様に存在し、それぞれに毒性があります。パナソニックグループでは化学物質の有害性評価を行い、ランクでの区分、及び有害性係数を独自設定しています。各工場におけるHEIカウント（Human and Environment Impact）を算出し、管理・削減を行っています。

## GREEN PRODUCTS

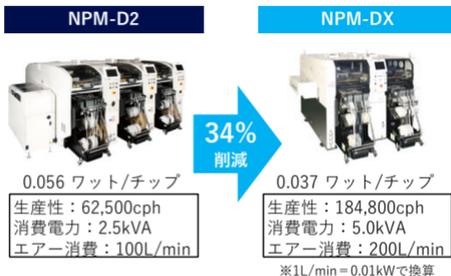
### 環境配慮設計を推進するために

パナソニックグループでは、環境配慮設計に基づいた製品を「グリーンプロダクツ」と称し、3つの指標に準じた製品開発で環境対応を進めています。

- ① Save : CO<sub>2</sub>削減のための、製品使用時や待機時の省エネルギー
- ② Clean : 人体や生態系に害を与える化学物質などの使用を減らすこと
- ③ 3R (Reduce. Reuse. Recycle) : リサイクルが可能な素材の質量の比率を向上さらに、リデュース、リユース

### グリーンプロダクツ

#### 実装機のエネルギー効率向上



#### 印刷機自動化機能による材料廃棄量削減

SPG2	Before 手作業	After 自動化	廃棄はんだ 削減効果
 <p>はんだ移載 機能</p>	212 kg/年	37 kg/年	▲175 kg/年
 <p>下穴ポット式 はんだ供給</p>	1,648 kg/年	768 kg/年	▲880 kg/年
 <p>モレーヌ ブロック</p>	1,331 kg/年	666 kg/年	▲665 kg/年
年間合計	3,191 kg/年	1,471 kg/年	▲1,720 kg/年

#### 溶接機の消費電力削減



パナソニックグループでは、資源有効利用促進法で対象となる製品において、JIS C 0950 (J-Moss) に規定された特定の化学物質の基準値を超えた製品の製造・輸入販売はしていません。

## Autonomous Factory

現場の各工程、工場全体、工場間、そしてサプライチェーンとつながるために

プロセスオートメーション事業部（PABD）では、100年の製造業の歴史の中で培った知見やノウハウを通して、

現場の変動要素である5M情報（human/Machine/Material/Method/Measurement）を連携させることで、

あらゆる状況に即応し計画通りのモノづくり現場を実現する『自律的に進化し続ける工場：Autonomous Factory』をご提案します。

# Autonomous Factory



[https://connect.panasonic.com/jp-ja/fine-process-control\\_smt-process-products-npmg](https://connect.panasonic.com/jp-ja/fine-process-control_smt-process-products-npmg)

## 国内拠点エコリレー

### 地域と共に地球を守り、地球環境保全への意識を高める

「森林」「緑地」「水」を中心とした地域環境の保全、里山保全につながる活動、自然教育活動など、地球環境保全活動を行い、温暖化防止やライフスタイルを見直す意識啓発に取り組んでいます。

また、地域住民の方々とも協力することで、地域活性化活動にも寄与しています。

### 各国内拠点で行っている環境保全活動



# 目次

- **サステナビリティ経営について**
  - トップメッセージ
  - パナソニック コネクトのサステナビリティ経営
  - プロセスオートメーション事業部のESGアプローチ
- **E | 環境 | サプライチェーンの自律化による環境保全**
  - 中長期環境ビジョン | GREEN IMPACT
  - 環境配慮に向けた負荷低減活動 | GREEN FACTORY
  - 環境配慮に向けた独自認定制度 | GREEN PRODUCTS
  - 私たちだからできるHOW | Autonomous Factory
  - 環境保全活動 | 国内拠点エコリレー
- **S | 社会 | モノづくり現場のウェルビーイング実現**
  - 安全配慮の徹底
  - DEI推進による多様な人材の活躍
  - 健康経営宣言
- **G | ガバナンス | 地球・社会への継続貢献**
  - コーポレートレジリエンス向上
  - グローバルコンプライアンスの実践

## 安全配慮の徹底

すべての社員が心身ともに健康で病気や怪我をすることなく会社生活を過ごすために

プロセスオートメーション事業部（PABD）では、すべての社員が働くことを通じて自己成長、働きがい、生きがいを実感し、

一人ひとりの能力を最大限に発揮できるように、心身ともに安心できる職場環境づくりを強化しています。

労働安全衛生方針の設定し、月に1日はその方針を再確認することで、現場の安全維持を目指します。

### 労働安全衛生方針

当社の健康・安全衛生活動は労働安全衛生宣言に基づき、災害ゼロ職場の達成と活力あふれる快適な職場環境の実現を目指す。

達成の実現に向け、労働安全衛生マネジメントシステムの計画的な実施、維持、向上の取り組みを基本活動とし、以下の具体的な活動を定める。

1. 労働に関係する負傷や疾病を防止するため、健康で安全な職場を提供します。
2. 事業者と働く人が、安全衛生委員会の場で安全衛生活動の協議を行い、適切な目標及び目標を達成するための実施計画を策定し、実行します。
3. 労働安全衛生に関する全ての法規制及び定めた自主規定を順守します。
4. リスクアセスメントやヒヤリハット活動により、危険又は有害要因を特定し、必要なリスク管理策を推進、傷害並びに疾病の予防を推進します。
5. 労働安全衛生活動を効果的に運用し、労働安全衛生マネジメントシステムと労働安全衛生パフォーマンスを継続的に改善していきます。
6. 職場内の関連する階層、部門の働く人及び働く人の代表の参加による協議を実施して意見を聴取し、意思決定に役立てます。

### 安全に関する理解促進

工場働く社員を対象に安全に関する勉強会（安全道場）を実施  
工場内のいたるところに安全維持を啓蒙するポスターを設置



## DEI推進活動の徹底

国籍・年齢・性別などを問わずすべての社員にとってフェアな環境づくりに取り組むために

プロセスオートメーション事業部（PABD）では、社員一人ひとりの成功を通じて企業価値の持続的向上が実現されていくという考えを持っています。

そのために、多様な視点・経験・価値観を持つ一人ひとりが力を発揮できる柔軟性の高い風土を育むことを目指し、

様々なDEI推進の取り組みを実践しています。

## 女性活躍・子育て支援

えるぼし認定取得



女性活躍推進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に積極的であると厚生労働省認定より認定を受けています。

くるみん認定取得



男性育休の取得基準など一般事業主行動計画を策定し目標を達成した「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けています。

## マルチカルチャー浸透

国内 | 女性社員率



国内 | 外国籍社員率



業界の傾向もあり、まだまだ割合は少ないですが、マイノリティの社員がいきいきと輝けるように、全社員対象に「アンコンシャスバイアス研修」を実施しています。

## 公平性の追求

松甲学院（山梨）の運営



高校卒業後入社した社員を対象に、1年間で様々な資格を取得できる機会を提供しています。1997年に創立し、これまでに185名のグローバル人材を送り出しています。

## 健康経営の徹底

### 「安全」「健康」「幸福」をもたらす健康経営の実現に向けて

プロセスオートメーション事業部（PABD）では、社員一人ひとりの成功・働きがいの実現を目指し、

心身ともに健康で、いきいきと働ける環境の構築と、

お客様を含むすべてのステークホルダーの現場が快適になるように、健康経営方針を掲げています。

どんなときも「健康ファースト」を貫くために、有給休暇取得の推奨も積極的に行っています。

### 健康経営方針

人間尊重（人命尊重＋人間性尊重）の精神に基づき、従業員視点を重視した現場・現物・現人主義に徹した活動を推進する

- 一人ひとりの心身の健康を、働く環境、制度、組織の役割、地域社会との協調等の視点も重視し、働く人のエンゲージメントの向上と社会への貢献を推進します。
- 一人ひとりの「安全・安心と健康」を基盤にその家族も「安全・安心」「健康」「幸福」であることを目指します。
- サプライチェーンを含むすべてのお客様に「心身の健康と幸福」を提供し、より良い世界を創る環境を構築します。

### 健康経営優良法人



パナソニックコネクト（株）は2022年に続き2023年も健康経営優良法人の認定を受けています。経済産業省および日本健康会議が共同で優良な健康経営を実践している法人を認定する制度です。

### 有給休暇取得の推奨

プロセスオートメーション事業部（PABD）

有給休暇取得平均日数：**18.6**日

※2023年1月時点



# 目次

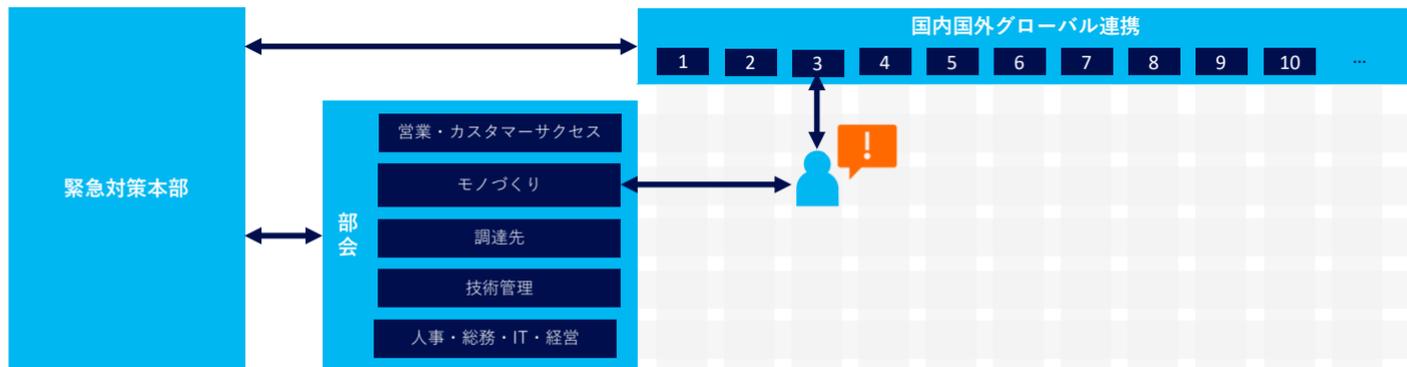
- **サステナビリティ経営について**
  - トップメッセージ
  - パナソニック コネクトのサステナビリティ経営
  - プロセスオートメーション事業部のESGアプローチ
- **E | 環境 | サプライチェーンの自律化による環境保全**
  - 中長期環境ビジョン | GREEN IMPACT
  - 環境配慮に向けた負荷低減活動 | GREEN FACTORY
  - 環境配慮に向けた独自認定制度 | GREEN PRODUCTS
  - 私たちだからできるHOW | Autonomous Factory
  - 環境保全活動 | 国内拠点エコリレー
- **S | 社会 | モノづくり現場のウェルビーイング実現**
  - 安全配慮の徹底
  - DEI推進による多様な人材の活躍
  - 健康経営宣言
- **G | ガバナンス | 地球・社会への継続貢献**
  - コーポレートレジリエンス向上
  - グローバルコンプライアンスの実践

## BCM（事業継続マネジメント）の遂行

### B2B企業として、サプライチェーンを含めたBCMを策定

プロセスオートメーション事業部（PABD）では、企業の社会的責任としての事業継続活動の必要性を強く認識し、有事にも商品の供給・サービスの提供を中断しないため、また万が一中断した場合においても早期に再開するため、2005年以來、BCM（事業継続マネジメント）を策定し、それに則った事業活動を推進しています。

#### 有事の際に迅速に対応可能な体制を整備



## パナソニックグループ コンプライアンス行動基準

### 社員一人ひとりが果たすべき約束を設定

法務部門・コンプライアンス行動基準順守担当役員・輸出管理責任者や各職能責任者を国内外全拠点に設置しグローバルに連携して運用しています。

さらに、年1回、世界の全拠点におけるコンプライアンス行動基準の順守・実践状況について確認し、確認結果は全社統制監査の一環として、監査法人による外部監査の対象にもなっています。

### パナソニックグループ コンプライアンス行動基準 ブックレット



The logo features the word "Panasonic" in a white, bold, sans-serif font, positioned above the word "CONNECT" in a light blue, bold, sans-serif font. The background is a dark blue grid with a large light blue arc on the left and a light blue square on the right.

# Panasonic CONNECT

2023年5月 発行